

百年の梅の香りとおもてなしを3年ぶりに開催！！

## 三溪園「第49回 観梅会」

2023年2月12日(日)～2月26日(日)

国指定名勝「三溪園」（所在地：横浜市中区）では、2023年2月12日(日)～2月26日(日)まで、「観梅会」を開催します。三溪園は、明治時代より磯子や杉田などから梅の移植を行い、開園当初から梅の名所として親しまれてきました。現在も2月には500本の梅が咲き香り、梅の盆栽展や俳句大会なども実施して初春の賑わいを盛り上げます。また、かつて芥川龍之介も立ち寄った「初音茶屋」では、土・日・祝日限定で、開園当初から使われてきた古釜を吊るした火焚きを行い、暖を取っていただけます。梅の香りとともに往時の風情をお楽しみください。



### ■第49回 観梅会

期 間 | 2023年2月12日(日)～2月26日(日)

時 間 | 9:00～17:00 (最終入園 16:30)

料 金 | 入園料のみ

### ■観梅会盆栽展

梅を中心とした盆栽約40点を展示・紹介。

日程 | 2月12日(日)~19日(日)

時間 | 10:00~16:00

場所 | 中央広場

協力 | 横浜三溪園臯月会



### ■初音茶屋の火焚き

かつて芥川龍之介も立ち寄った「初音茶屋」で、囲炉裏の火焚きを行います。昔ながらの知恵で暖を取っていただけます。

日程 | 2月12日(日)、18日(土)、19日(日)、  
23日(木・祝)、25日(土)、26日(日)

時間 | 10:00~15:30

場所 | 初音茶屋



### ■猿まわし

日光さる軍団から太郎次郎一門のコンビが楽しい芸を披露してくれます。

日程 | 2月11日(土・祝)、12日(日)、18日(土)、19日(日)、  
23日(木・祝)、24日(金)、25日(土)、26日(日)

時間 | 10:00~16:30 (適宜休憩が入ります)

場所 | 中央広場 ※2/25のみ正門藤棚前広場

出演 | 太郎次郎一門



【動物取扱業者標識】株式会社モンキーエンタープライズ/東京都港区赤坂5-4-13 (拠点・事業所住所:東京都葛飾区南水元4-8-3) /  
取扱業種別:展示/登録番号:20東京都第006780号/登録年月日:令和2年5月26日/  
登録有効期限:令和7年5月25日/動物取扱責任者氏名:長沼江美

※ 天候やお猿の体調、またその他の諸事情により、変更または中止の場合もございます。

### ■お囃子

地元のお囃子連の子供たちが元気に演奏と舞を披露してくれます。

日程 | 2月25日(土)

時間 | 11:00~/14:00~ (各回1時間)

場所 | 中央広場

出演 | 横濱本牧囃子連



### ■お雛様の展示

御殿飾りの豪華なものから土でできたかわいい豆びなまで、一般の方から寄贈いただいたお雛様を展示します。

期間中はそれぞれ趣の異なる戦前のお雛さまが楽しめます。

日程 | 2月10日(金)~3月8日(水) ※2月22日(水)に飾り替え

時間 | 9:00~16:30

場所 | 旧矢筥原家住宅



## ■俳句大会

日程 | 2 月 26 日(日)

時間 | 受付 10 : 30 ~、投句締め切り 12 : 00 まで、13 : 50 頃 ~ 披講、入賞者の表彰など (予定)

場所 | 鶴翔閣

参加費 | 1,000 円を予定 (入園料別途)

共催 | 横浜俳話会 <https://yhaiwakai.wixsite.com/haiwakai>

## ◆三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって、1906 年 (明治 39) 5 月 1 日に公開。175,000 m<sup>2</sup> に及ぶ園内には京都や鎌倉などから移築された歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置されている。2007 年 (平成 19) に国の名勝に指定。  
(現在、重要文化財 10 棟・横浜市指定有形文化財 3 棟)

## ◆原三溪について

原 三溪 (本名富太郎) (1868 年/慶応 4-1939 年/昭和 14)

岐阜県厚見郡佐波村 (現在の岐阜県岐阜市柳津町) で代々に渡り、庄屋をつとめた青木家の長男として生まれる。幼少の頃から絵・漢学・詩文を学び、1885 年 (明治 18) 東京専門学校 (現在の早稲田大学) に入学、政治・法律を学ぶ。1888 年 (明治 21) 頃に跡見学校の助教師になり、1891 年 (明治 24)、原善三郎の孫娘、屋寿と結婚し原家に入籍。原家の家業を継ぐと、経営の近代化と国際化に力を入れ、実業家として成功を収める。

住まいを本牧・三之谷へ移すと古建築の移築を開始し、1906 年 (明治 39) 三溪園を無料開園。1923 年 (大正 12) の関東大震災後は、荒廃した横浜の復興に力を注ぐ。

三溪自身も書画をたしなみ、その作品の一部は、園内の三溪記念館に収蔵されている。



## 施設概要



施設名	三溪園 (さんけいえん)
運営	公益財団法人三溪園保勝会
所在地	〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
連絡先	TEL 045-621-0635
入園料	大人 700 円 / 小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 200 円 (濱ともカードの提示が必要)
開園時間	9 : 00 ~ 17 : 00 (最終入園 16 : 30) *イベントによって異なる場合あり
休園日	12 月 29 日 ~ 31 日
アクセス	JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車、徒歩 10 分 横浜駅東口から市営バスで 40 分「三溪園入口」下車、徒歩 5 分
公式 HP	<a href="http://www.sankeien.or.jp">www.sankeien.or.jp</a>
Instagram	<a href="https://www.instagram.com/sankeien_garden">www.instagram.com/sankeien_garden</a>
Twitter	<a href="https://twitter.com/HSankeien">twitter.com/HSankeien</a>

## 本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 事業課 広報担当 岩本・加藤

TEL : 045-621-0635 / FAX : 045-621-6343

MAIL : iwamoto@sankeien.or.jp